

「JIS H 8641 溶融亜鉛めっき」の改正にともなう変更内容のご案内

2022年11月
有田工業株式会社

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年12月に溶融亜鉛めっきに関するJIS規格（JIS H8641、JIS H0401）が改正され、弊社におきましても品質管理体制などの準備が整い、12月1日より移行する運びとなりましたので、規格の改正概要ならびに試験・報告要領の変更等につき、下記の通りご案内お願い申し上げます。

記

1. 規格の主な変更点

1) めっきの規格

【改正前：付着量】

【改正後：膜厚】

種類	記号	付着量	参考膜厚
2種 35	HDZ 35	350g/m ² 以上	49μm
2種 40	HDZ 40	400g/m ² 以上	56μm
2種 45	HDZ 45	450g/m ² 以上	63μm
2種 50	HDZ 50	500g/m ² 以上	70μm
2種 55	HDZ 55	550g/m ² 以上	77μm



記号	平均めっき膜厚
HDZT 49	49μm 以上
HDZT 56	56μm 以上
HDZT 63	63μm 以上
HDZT 70	70μm 以上
HDZT 77	77μm 以上

※1種（硫酸銅試験回数）は廃止

2) めっきの試験方法

改正前・・・間接法*1(直接法*2)又は、磁力式厚さ試験(膜厚)の結果から付着量を算出

改正後・・・膜厚試験。(膜厚計による測定が困難な場合は付着量試験で膜厚*を算出)

$$\text{※膜厚} = \text{付着量}(\text{g/m}^2) \div \text{めっき被膜の密度 } 7.2(\text{g/cm}^3)$$

3) 密着性

改正前・・・8mm以上の平たん且つ40mm以上×40mm以上の試験片を採取できる場合は、“ハンマ試験”をおこなう。(それ以外は、目視による試験)

改正後・・・目視による“剥離”の外観試験。(ハンマ試験は廃止)

2. めっきの試験実施要領

1) 膜厚試験

製品そのままを試験片として、電磁式膜厚計による膜厚試験結果により判定します。

(同一の使用素材から切り取る試験片は不要となります)

測定は、ご指定の構造部材毎に主要な構成素材について「JISH0401:2021 表 1-膜厚の測定箇所の数」(下表)の、該当する最小の測定箇所数を基本におこないます。

試験片の長さ	測定箇所の数	
	試験片の有効面の面積	
	2 m ² 以下	2 m ² 超
2 m 以下	1 以上	3 以上
2 m 超	3 以上	3 以上

2) 試験報告書の記載形式について

試験品名は、従来通り材料呼称+サイズの表記としますが、表記名称等のご指定が有る場合はご指示ください。